

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-オ	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興
			施策の小項目名	○県内産業界によるMICEの活用促進
主な取組	展示会、商談会、見本市の開催支援			
対応する主な課題	①沖縄県内において様々な展示会・商談会を開催し、県内産業の成長を図っていくためには、大型展示場を整備することはもちろんのこと、多くの出展者や来場者が集まり、かつ高い商談成約率が望める魅力的な開催環境を作り出せるかが重要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
国内外の展示会主催者等への誘致活動と、県内での展示会等開催に向けた産業界の取組を促進する。						
実施主体	県、産業界		主催者等への誘致活動と産業界の取組促進			
担当部課【連絡先】	商工労働部アジア経済戦略課		【098-866-2340】			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名 展示会等総合推進事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施した。	
一括交付金(ソフト)	委託	—	15,369	15,507	17,652	13,458	13,071	一括交付金(ソフト)	OR4年度： MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施する。	
予算事業名 展示会先進地等調査							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： —	
一括交付金(ソフト)	委託	21,120	—	—	—	—	—		OR4年度： —	

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動と産業界の取組促進				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
		推進体制 を構築	誘致等実施	誘致等実施	誘致等実施	誘致等実施	誘致等実施	100.0%	13,458	順調
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
								進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う県を跨いだ移動制限等により、主催者への誘致活動は縮小せざるを得なかったものの、感染状況の落ち着いた時期に、集中的に誘致活動を実施した。 また、県内で実施される展示会等への開催支援や、開催可能性のある有望案件の主催者との調整、沖縄MICEネットワークにおける展示会等誘致開催検討会を実施した。		
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>MICEに携わる専門家等との連携強化に継続して取り組む。</li> <li>新型コロナウイルスの影響を考慮し、県外展示会等主催者への効果的な誘致活動の実施方法について検討する必要がある。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>県外の展示会等主催者や展示会施設管理者との意見交換等を行った。</li> <li>展示会等誘致開催検討会において、展示会等を誘致するために必要な取組や効果的な開催支援メニューを整理し、ウィズコロナ、アフターコロナにおける展示会等の開催に向けた産業界の取組促進を図った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

#### ○内部要因

- ・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。

#### ○外部環境の変化

- ・展示会・商談会は経済波及効果や産業育成効果が高いことから、県内経済界を中心に、期待が高まっている分野である。
- ・新型コロナウイルスの影響により、展示会等の開催形式は、オンライン商談会及びリアル商談会を掛け合わせたハイブリッド開催が主流となっている。

### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・県外の展示会等主催者や展示会施設管理者とのネットワークを構築する。
- ・MICEに携わる専門家等との連携により、誘致活動や産業界の取組促進に関するノウハウの蓄積や情報収集を行う必要がある。



## 4 取組の改善案 (Action)

- ・引き続き、県外の展示会等主催者や展示会施設管理者との連携構築を図り、大型展示会等の誘致促進に向けた取組を行う。
- ・MICEネットワークを通して、MICEに携わる専門家等と連携し、県内産業の成長発展に資する展示会等の誘致促進を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-才	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興
			施策の小項目名	○県内産業界によるMICEの活用促進
主な取組	MICE産業人材の育成			
対応する 主な課題	<p>①沖縄県内において様々な展示会・商談会を開催し、県内産業の成長を図っていくためには、大型展示場を整備することはもちろんのこと、多くの出展者や来場者が集まり、かつ高い商談成約率が望める魅力的な開催環境を作り出せるかが重要である。</p> <p>②MICEは地域経済への波及効果が高く、観光と比べての関連産業の裾野は広いとされているが、MICEから派生するビジネスに取り組んでいる県内事業者はまだ少ないのが現状である。今後、MICEによる県内への経済波及効果を最大化するためには、MICE開催時に主催者から県内事業者が受注できる業務を拡大していくことが重要な課題である。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
主催者等への誘致活動と産業界の取組を促進する。						
実施主体	県、OCVB	MICE専門人材育成の講座・セミナー開催				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】 商工労働部アジア経済戦略課 【098-866-2340】					

様式1(主な取組)

2 取組の状況 (Do)



(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名 展示会等総合推進事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施した。 OR4年度： MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施する。	
一括交付金(ソフト)	委託	—	15,369	15,507	17,652	13,899	13,071	一括交付金(ハード)		
予算事業名 展示会先進地等調査							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： —	
一括交付金(ソフト)	委託	21,120	—	—	—	—	—		OR4年度： —	

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE専門人材育成の講座・セミナー開催				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	推進体制 を構築	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	13,899	順調	産官学連携を図るため、沖縄MICEネットワークを運営するとともに、産業界の取組を促進するための勉強会等を実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値										
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>MICEに携わる専門家等との連携強化に継続して取り組む。</li> <li>新型コロナウイルスの影響を考慮し、県外展示会等主催者への効果的な誘致活動の実施方法について検討する必要がある。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>県外の展示会等主催者や展示会施設管理者との意見交換等を行った。</li> <li>展示会等誘致開催検討会において、展示会等を誘致するために必要な取組や効果的な開催支援メニューを整理し、ウィズコロナ、アフターコロナにおける展示会等の開催に向けた産業界の取組促進を図った。</li> </ul>				

## 様式1(主な取組)



### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。

##### ○外部環境の変化

- ・展示会・商談会は経済波及効果や産業育成効果が高いことから、県内経済界を中心に、期待が高まっている分野である。
- ・新型コロナウイルスの影響により、展示会等の開催形式はオンラインやハイブリッド開催が主流となっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・県外の展示会等主催者や展示会施設管理者とのネットワークを構築する。
- ・MICEに携わる専門家等との連携により、誘致活動や産業界の取組促進に関するノウハウの蓄積や情報収集を行う必要がある。



### 4 取組の改善案 (Action)

- ・引き続き、県外の展示会等主催者や展示会施設管理者との連携構築を図り、大型展示会等の誘致促進に向けた取組を行う。
- ・MICEネットワークを通して、MICEに携わる専門家等と連携し、県内産業の成長発展に資する展示会等の誘致促進を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-才	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興
			施策の小項目名	○県内産業界によるMICEの活用促進
主な取組	MICE限定制度の導入検討			
対応する主な課題	①沖縄県内において様々な展示会・商談会を開催し、県内産業の成長を図っていくためには、大型展示場を整備することはもちろんのこと、多くの出展者や来場者が集まり、かつ高い商談成約率が望める魅力的な開催環境を作り出せるかが重要である。 ②MICEは地域経済への波及効果が高く、観光と比べての関連産業の裾野は広いとされているが、MICEから派生するビジネスに取り組んでいる県内事業者はまだ少ないのが現状である。今後、MICEによる県内への経済波及効果を最大化するためには、MICE開催時に主催者から県内事業者が受注できる業務を拡大していくことが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
展示会・商談会の開催時に、海外から展示販売等の商品を日本国内に持ち込む際の関税等の課税免除手続きの簡素化、MICE参加者の出入国手続きの迅速化に向けた新たな制度の導入可能性を検討する。						
実施主体	県	調査	制度検討、関係団体との調整			
担当部課【連絡先】	商工労働部アジア経済戦略課 【098-866-2340】 文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	展示会等総合推進事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	—	15,369	15,507	17,652	13,458	13,071	一括交付金(ソフト)	○R3年度：展示会等の誘致活動や開催支援等と合わせて、展示会等開催に関連する制度に関して検討を行った。 ○R4年度：展示会等の誘致活動や開催支援等と合わせて、展示会等開催に関連する制度や取組等に関して、必要に応じて検討を行う。
予算事業名	全国特産品流通拠点化推進事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	21,120	—	—	—	—	—		○R3年度：— ○R4年度：—



様式1(主な取組)

活動指標名	制度検討				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	実施	実施	実施	—	100.0%	13,458	順調	展示会主催者や参加者の利便性、負担軽減につながる制度や取組等について検討を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の先進事例について関係者との意見交換を行い、魅力的な開催環境に向けた取組を検討する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>MICEネットワークを通じて、先進事例の情報共有を行うとともに、展示会等主催者に対する支援メニューの整理を行った。</li> </ul>				

## 様式1(主な取組)



### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。

##### ○外部環境の変化

- ・国内の他の都市において、常設保税展示場の認定を受けた施設が2019年に開業している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からのMICE参加者が見込めない状況であり、展示会等の開催形式はオンライン商談会及びリアル商談会を掛け合わせたハイブリッド開催が主流となっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・展示会主催者及び参加者の利便性や負担軽減につながる効果的、実効的な制度や取組等について、引き続き検討をする必要がある。



### 4 取組の改善案 (Action)

- ・MICEネットワークにおける展示会等誘致開催検討会において整理した展示会等主催者に対する支援メニューをできるものから実施していく。